



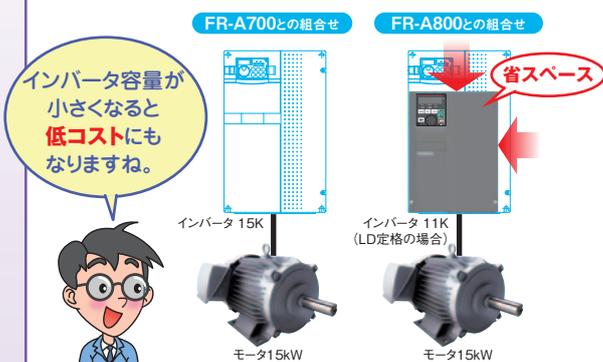
### 今回は 多重定格

最適なインバータ容量を選定できるFR-A800の新機能「多重定格」。機能の紹介と設定についておけいこします。



## 用途にあわせて最適な容量を選定

定格電流、過負荷耐量の異なる4つの定格 (SLD定格 (超軽負荷)、LD定格 (軽負荷)、ND定格 (標準負荷)、HD定格 (重負荷)) をパラメータで選択できます。用途に合わせて最適なインバータが選択でき、SLD定格、LD定格でインバータを選定すると、FR-A700シリーズに比べて設備の小形化が図れます。HD定格は、低速から高トルクが必要な用途に最適です。



定格	SLD 超軽負荷	LD 軽負荷 (F700P相当)	ND 標準負荷	HD 重負荷
用途		ファン・ポンプ シールドマシン、巻取り・巻出し、印刷機械	クレーン、プレス	搬送
Pr.570(E301)設定値	0	1	2(初期値)	3
過負荷電流定格 (反限時特性)	110% 60s, 120% 3s	120% 60s, 150% 3s	150% 60s, 200% 3s	200% 60s, 250% 3s
周囲温度	40℃	50℃	50℃	50℃

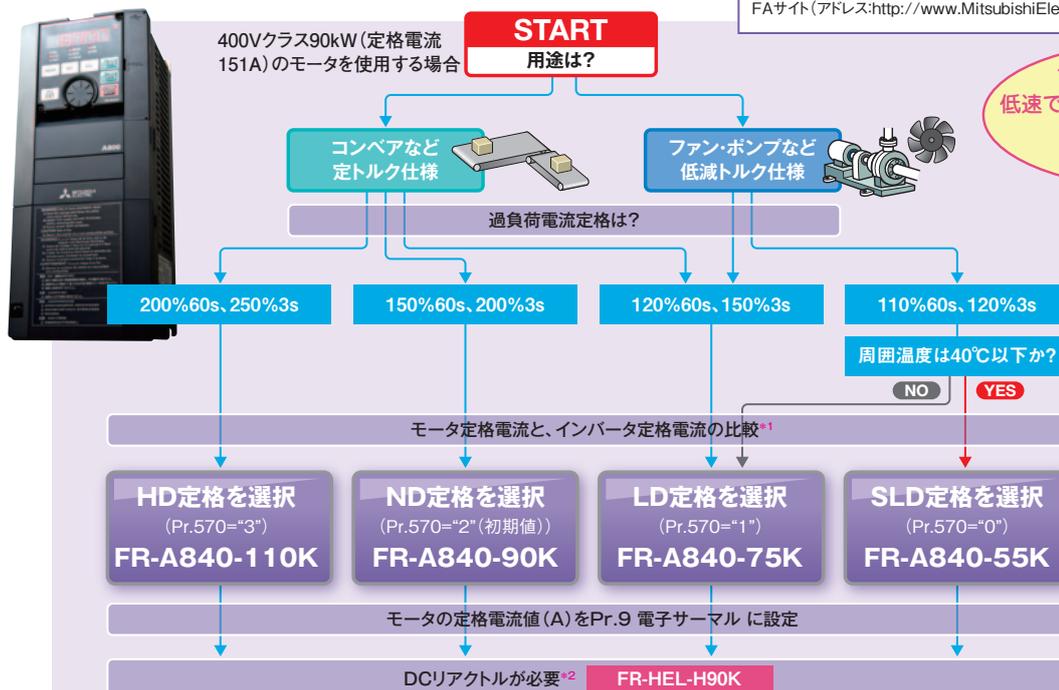
適用できる容量や用途が増えると在庫の共通化にも役立つね



75K以上のインバータや75kW以上のモータを使用する場合、オプションのDCリアクトル (FR-HEL) を必ず設置してください。DCリアクトルは使用するモータ容量にあわせて選定してください。

## 多重定格を設定してみましょう

インバータ、モータの容量選定 (近日対応)  
テクニカルノートNo.30/31、インバータ容量選定ソフトウェアを参照してください。(三菱電機FAサイト (アドレス: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/>) からダウンロードできます。)



ファン・ポンプ用途では低速で大きなトルクが必要ないからLD定格やSLD定格を選択しやすいのね



LD定格だと75K、SLD定格だと55Kのインバータが使えるおトクですね!



ケータ先輩  
ケイコせんぱいを  
育てたご意見番

DCリアクトルは、モータ容量によって選定が変わってくるから、75K以上でも付属されないよ。

\*1:インバータの選定は、モータ定格電流とインバータ定格電流の比較によって決まるため、多重定格を設定しても適用インバータ容量が変わらない場合もあります。  
\*2:コンベア分離タイプ、IP55対応品はDCリアクトルを内蔵しています。

